



*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

# 2023年度 決算説明会資料

2024年5月13日  
株式会社UACJ



## **2023年度の事業利益\*1は221億円の増益**

2024年度は販売数量の増加と製造コスト削減施策の継続により、**増収増益を計画**

### ■ 2023年度 事業利益 434億円(前期比 +221億円)

- ✓ 国内：エネルギー・添加金属高騰分のサーチャージ制価格体系導入効果が年間を通して寄与  
構造改革等による経営体質の改善効果で利益を確保し、事業環境が厳しい中でも増益を達成
- ✓ 海外：TAA\*2 市況影響でのマージン増とコスト減によって収益を拡大  
UWH\*3 受注数量の回復、コストダウン施策の徹底による増益

### ■ 2024年度 通期業績見通し 事業利益 435億円

- ✓ 国内自動車生産に対する高操業の維持、半導体市況の段階的な回復の捕捉等、需要を確実にとらえた販売数量の増加を見込む。エネルギー・添加金属の市場価格の落ち着きを織り込む
- ✓ 最終利益の30%以上を配当性向の目途とし、年間配当は**10円/株増配の100円/株**を予定

\*1 事業利益：持続的な事業活動の成果。営業利益から、棚卸資産影響、一時的・特殊な重要性のある損益を控除したもの

\*2 TAA：Tri-Arrows Aluminum Inc.

\*3 UWH：UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.

1. 2023年度 業績

2. サステナビリティへの取り組み

3. 2024年度 業績見通し

4. ご参考データ

# 1. 2023年度 業績



# 業績 サマリー

**事業利益 434億円** (前期比 +221億円)

営業利益 314億円 (前期比 +201億円)

**数量：1,195千トン 前期比 △ 98千トン**

- 缶材:グローバルでの缶材サプライチェーン全体の在庫量は正常化傾向にあるも、上期の販売量減少が響く
- 自動車関連(パネル板材、熱交換器、電池箔、構造部材他):生産の回復に伴い、着実な販売が継続
- 厚板:半導体製造装置向け厚板の在庫調整局面の影響が継続

**事業利益：434億円 前期比 +221億円**

## ◎増益要因

- 国内事業の損益好転
  - TAAの増益
  - UWHの収益改善
- … (受注数量の回復、コストダウン施策の徹底)
- (価格改定効果、製造コスト改善施策によって利益率上昇)

## 2023年度 業績

(単位:億円)	2022年度*1 (A)	2023年度 (B)	増減 (B) - (A)
売上収益	9,557	<b>8,928</b>	△ 629
事業利益	213	<b>434</b>	221
棚卸資産影響等	△100	<b>△ 120</b>	△20
営業利益	113	<b>314</b>	201
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 13	<b>139</b>	152
1株あたり当期利益 (円 / 株)	△ 27	<b>287</b>	314
(参考) 事業利益をベースとした 親会社の所有者に帰属する当期利益	57	<b>221</b>	164
(参考) 事業利益をベースとした 1株あたり当期利益 (円 / 株)	119	<b>458</b>	339
Adjusted EBITDA*2	561	<b>798</b>	237

\*1 国際会計基準(IFRS)の適用にあわせ、UATHを含む一部グループ会社の会計期間を12月決算から3月決算に変更しております

\*2 Adjusted EBITDA: EBITDA - 棚卸資産影響等

## アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

品 種	2022年度*1 (A)	2023年度 (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材*2	834	<b>791</b>	△ 43
箔 地	46	<b>45</b>	△ 1
I T 材	9	<b>8</b>	△ 1
自動車材	125	<b>142</b>	17
厚 板	52	<b>34</b>	△ 18
その他一般材	228	<b>175</b>	△ 53
<b>合 計</b>	<b>1,293</b>	<b>1,195</b>	<b>△ 98</b>
	国内市場向け 475 海外市場向け 818	国内市場向け 475 海外市場向け 720	国内市場向け 0 海外市場向け △98

\*1 会計期間の変更に伴い、実績値を組み換えています

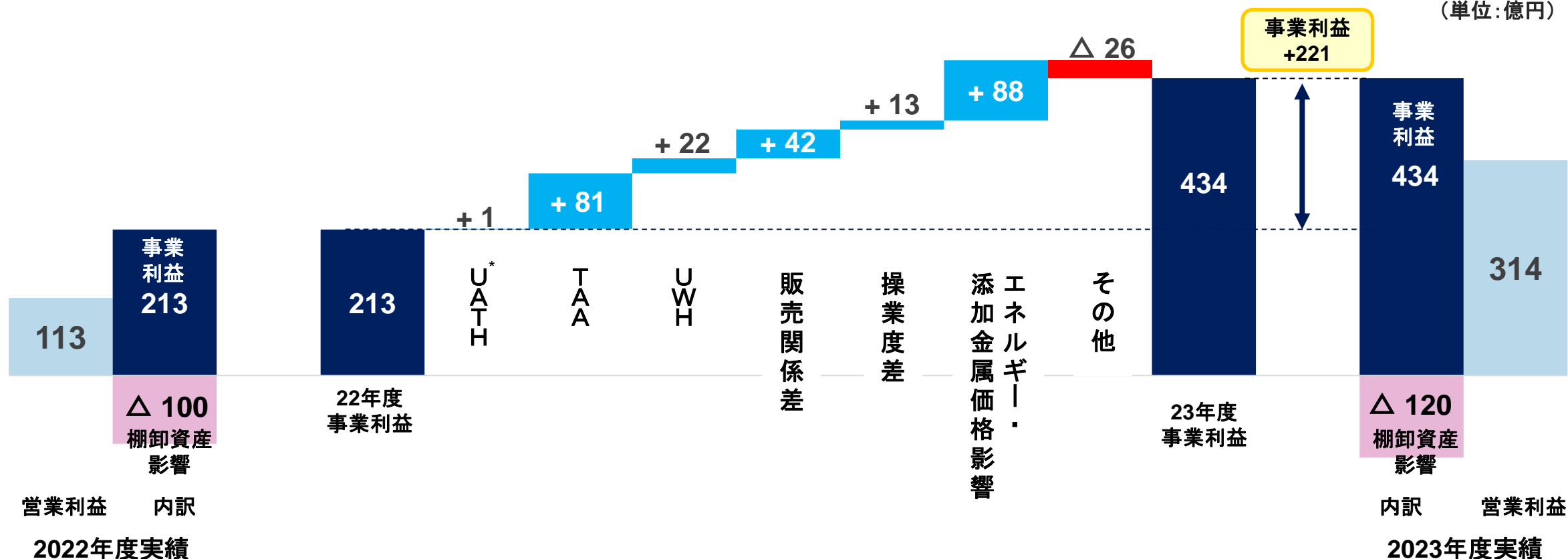
\*2 内部取引控除後の数量

# 事業利益分析 (2022年度 → 2023年度)

事業利益: **213億円** (2022年度) → **434億円** (2023年度)

(棚卸資産影響額:  $\Delta$  100億円(2022年度) →  $\Delta$ 120億円(2023年度)、前期比 $\Delta$ 20億円)

(単位: 億円)

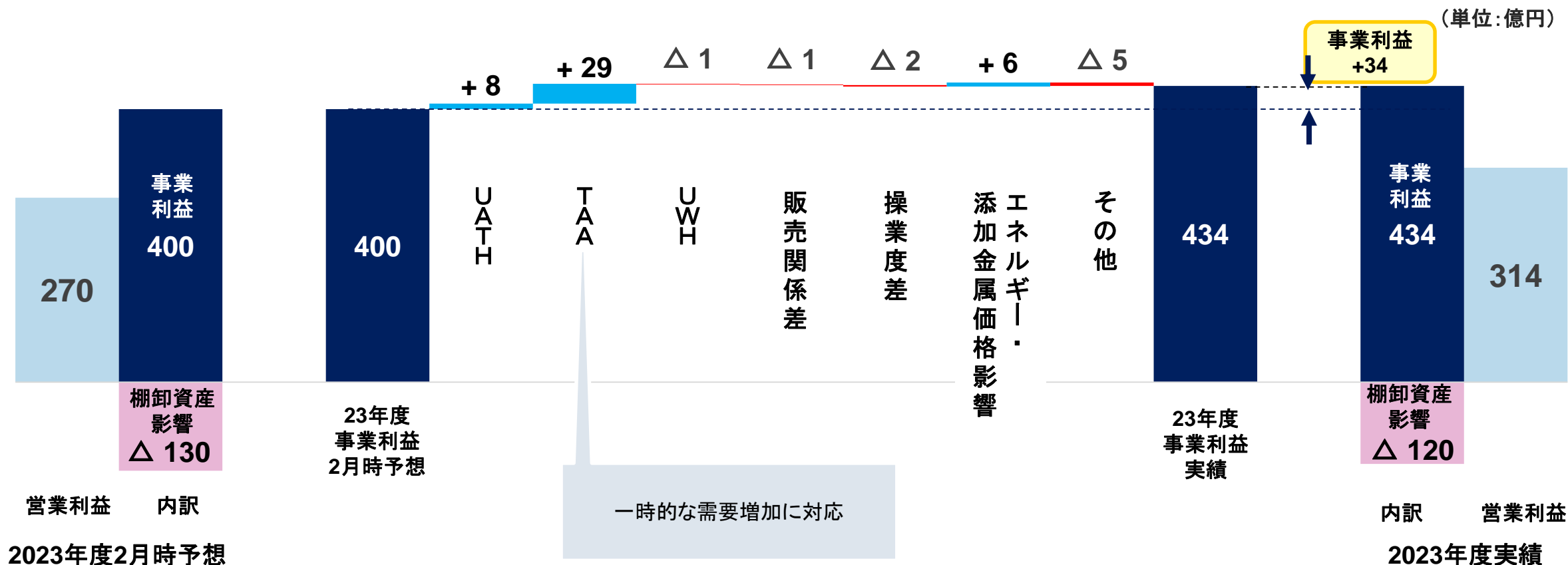




# 事業利益分析 (2024年2月予想 → 2023年度実績)

事業利益: **400億円** (2024年2月時点) → **434億円** (2023年度)

(棚卸資産影響額:  $\Delta$  130億円(2024年2月時点) →  $\Delta$  120億円(2023年度)、前回予想比+10億円)



# 連結貸借対照表

## 期末に向けて棚卸資産削減を推進

### 連結貸借対照表

(単位: 億円)	23/3末 (A)	24/3末 (B)	増減額 (B-A)
現金及び現金同等	234	402	168
営業債権及びその他の債権	1,590	1,797	207
棚卸資産	2,287	1,879	△ 408
その他の流動資産	266	234	△ 32
有形固定資産	3,657	3,852	195
その他の非流動資産	924	980	57
資産合計	8,957	9,144	187
営業債務及びその他の債務	1,394	1,417	23
借入金	3,404	3,109	△ 295
その他	1,479	1,598	119
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,465	2,770	305
非支配持分	215	250	35
負債及び資本合計	8,957	9,144	187

### 資金運用表

	用途	調達
長期資金	設備投資等	362
	法人税等支払	18
	長期資金余剰	204
短期資金		運転資金増減他
	短期資金余剰	383

長期資金余剰	204億円
短期資金余剰	383億円
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>587億円</b>

# 連結キャッシュフロー計算書

## 第3次中期経営計画でのD/Eレシオ目標(1.2倍)以上となる1.0倍を達成

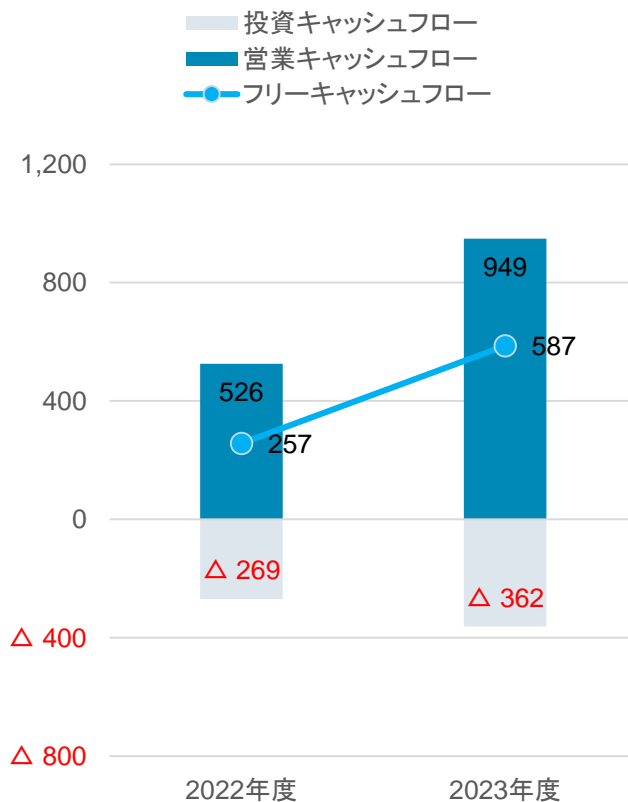
### 2023年度 連結キャッシュフロー

(単位:億円)

税引前利益	220
減価償却費	364
債権債務増減他	365
<b>営業キャッシュフロー計</b>	<b>949</b>
設備投資 他	△ 362
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>587</b>
ファイナンススキーム・配当他	△ 30
現預金増減(△は増加)	△ 168
外貨建て借入金換算差(△は増加)	△ 94
<b>有利子負債(△は増加)</b>	<b>295</b>

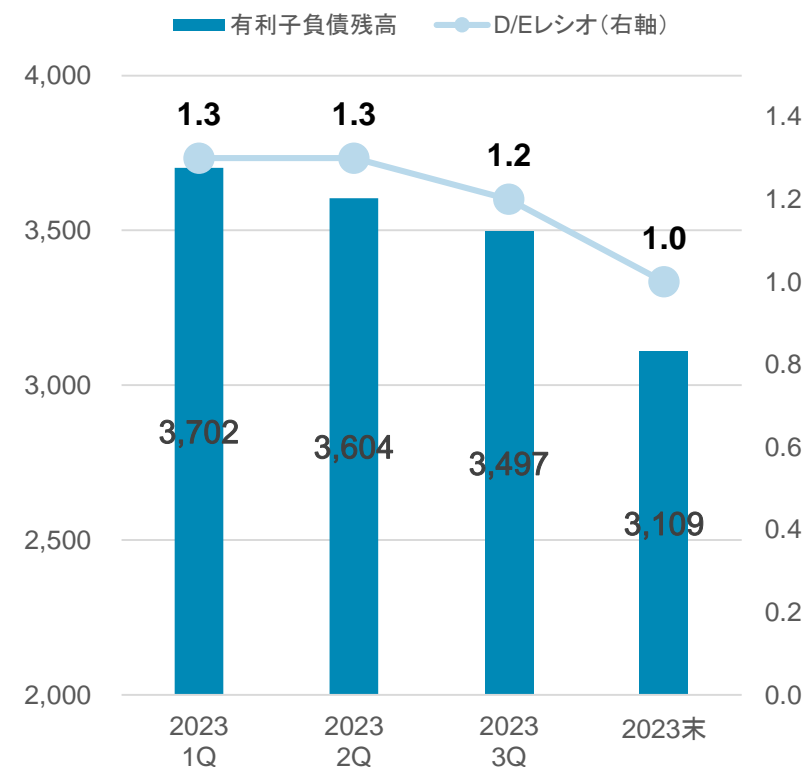
### 連結キャッシュフロー 推移

(単位:億円)



### 有利子負債残高・D/Eレシオ\*

(単位:億円)

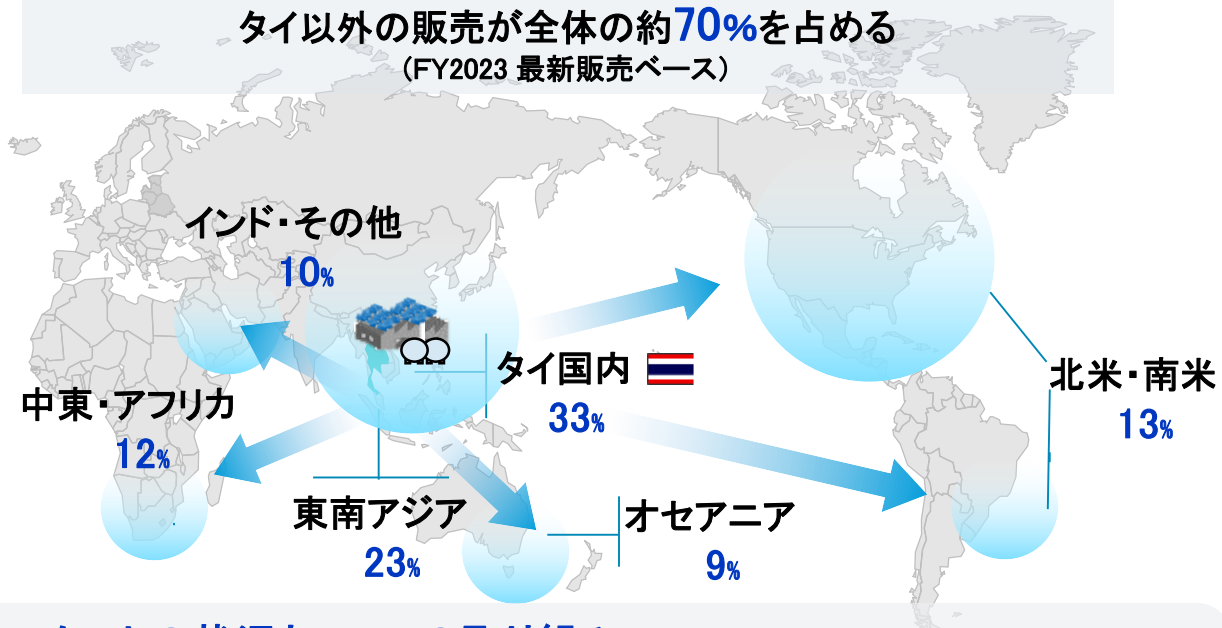


\* D/Eレシオは劣後ローンの資本性を考慮

# タイ(UATH)の状況 ~2023年度 総括

## コストダウン施策が奏功し、減収となるも増益

販売展開エリアの販売比率(世界25カ国)



### マーケットの状況とUATHの取り組み

- グローバルでの需要環境認識は変わらず、中長期的に成長継続見通し
- 北米市場は地産地消型の生産へ移行
- 短期的な需要動向によって販売量が大幅に変動

- UATH設立時に販売先ターゲットとしたASEAN地域、中東・インド、アフリカでの新規顧客の開拓を進め、販売展開エリア拡大に取り組んでいる
- ロールマージンの改定で収益を確保
- 中国材との競合に対し、安定供給と高い品質を強みとした競争力を発揮し契約を交渉

### 総括

- 需要** : 在庫調整による需要の落ち込みは底を打ち、緩やかな回復に入る
- 販売** : 缶材、自動車向け熱交換器材は堅調に推移  
エアコンフィンの販売は低調に推移

損益 : (単位: 億円)

	22年度 (22/4~23/3月)	23年度 (23/4~24/3月)	前期比
販売量(千t)*	290	256	△ 34
売上収益	1,750	1,426	△ 324
営業利益	△ 19	5	24
<b>事業利益</b>	<b>25</b>	<b>26</b>	<b>1</b>

\*TAAへの出荷分含む

# 米国(TAA)の状況 ~2023年度 総括

飲料缶・缶材のサプライチェーン全体の在庫量は適正化。販売数量は回復基調へ

## 米国缶材需要の推移



出典：UACJ調査による

## 総括

- 缶材需要 : 缶材の在庫量は適正化しており、回復傾向が続く
- 生産能力 : 約450千t / 年
- 増産対応 : 北米生産拠点の設備増強は順調に進捗

(単位: 億円)

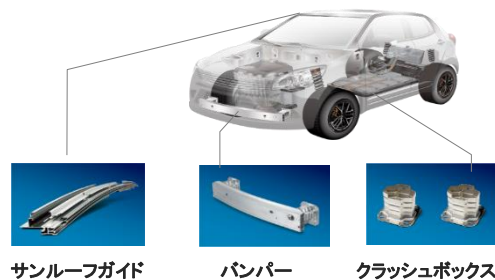
損益	22年度	23年度	前期比
販売量(千t)*	505	433	△ 72
売上収益	2,865	2,536	△ 329
営業利益	80	200	120
事業利益	194	275	81

\*国内、UATHからの出荷分含む

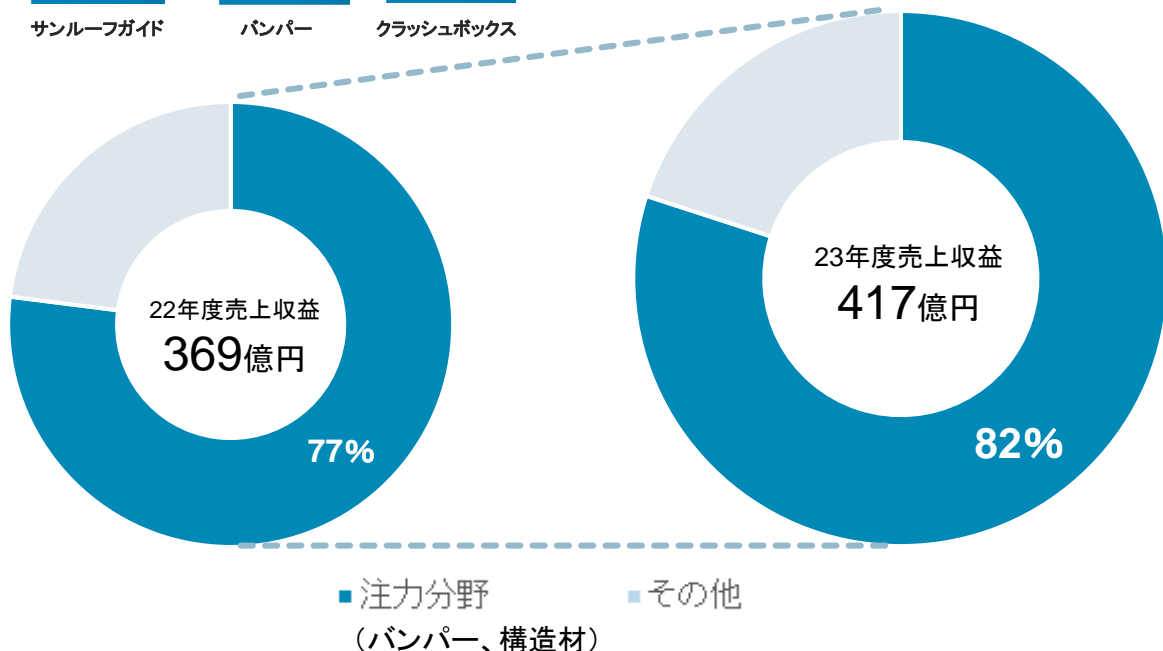
# 米国(UWH)の状況 ~2023年度 総括

## 北米における自動車生産の復調およびコストダウン施策により、事業利益が黒字化

### 品種構成の推移



UWHが注力する分野の拡販が  
確実に進んでいる



### 総括

**市場環境** : 自動車の軽量化ニーズやEV化の進展によって、自動車部品へ採用されるアルミ製品が拡大する予測に変動はない

**販売** : 顧客からの発注数量は回復傾向にある  
予定数量の未達分については顧客との交渉を進め、収益を確保している

**損益** :

	(単位:億円)		
	22年度	23年度	前期比
売上収益	369	417	48
営業利益	△ 17	11	28
事業利益	△ 18	4	22

## 2. サステナビリティへの取り組み



**UACJ**

## 2. サステナビリティへの取り組み

# 企業理念とサステナビリティ基本方針

美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

Environmental Sustainability / 緑豊かな青い地球

Business 事業

12 つの事業  
つなぐ未来

事業を通じて  
軽やかな未来を創造するために



13 気候変動に  
対応可能な環境



環境 Environment

緑豊かな青い地球を  
未来に継承するために



## 100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。  
自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。  
同じものとして、何度でも生まれ変わることができる  
この特徴は、アルミニウムならではの。  
言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を  
技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、  
これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に  
地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い  
環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、  
あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、  
ステークホルダーの皆さまとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

アルミとあしたへ。  
未来の子どもたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。  
それがUACJの考える「軽やかな世界」です。

誰もが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ

Well-being / ウェルビーイング



# 2023年度におけるサステナビリティ活動のトピックス

### 将来的なUACJの価値を高めるための取り組み

#### 「アルミニウムの循環型社会」の牽引 (サーキュラーエコノミー)

- 住友不動産様、東洋製罐グループホールディングス様と協業し、循環型社会の実現に向け「アルミ缶水平リサイクル」のサプライチェーンを構築
- 環境負荷を低減した次世代の飲料缶蓋「EcoEnd™」を東洋製罐様と共同開発
- UATHIにおいて、リサイクル炉の稼働を開始
- TAAにおいて、シュレッダー設備の導入を決定
- 福井製造所において、UBC加工設備の建屋起工式を実施

#### 気候変動への対応

- 太陽光発電設備の導入や水使用量削減が評価され、UATHがGSEE規格にて最高位のプラチナレベルの認証を獲得

#### ブランディング活動

- 世界初の100%リサイクル缶が「日本パッケージングコンテスト」で「経済産業省産業技術環境局長賞」を受賞
- 超々ジュラルミンなどの航空機用アルミニウム合金開発の技術資料2件が「未来技術遺産」に選定

#### 多様性と機会均等の浸透(DE&I)

- 「ダイバーシティ(DE&I)推進宣言」を公開
- 第3回パラリンアートコンテストへの支援を継続

### 将来的にUACJの価値の持続力を高めるための取り組み

#### 自然の保全と再生・創出 (ネイチャーポジティブ)

- UATHが「アマタ最優秀廃棄物管理賞2023」において、最高位の「プラチナレベル」を5年連続で受賞

#### 人権の尊重

- 人権デュー・ディリジェンスの実施(名古屋製造所、鎌倉産業、UAAU\*)
- 「サステナブル調達ガイドライン」を改訂

#### 労働安全衛生

- 「健康経営アライアンス」へ参画
- 「健康経営銘柄2024」「健康経営優良法人2024(ホワイト500)」に初選定
- 「ハタラクエール2024」で最高位の「優良福利厚生法人(総合)」を初受賞

#### エンゲージメントの向上

- 「NIKKEI社歌コンテスト2024」において、UACJ社歌「つづけ」がチームワーク賞を受賞
- 「2023年度経団連推薦社内報審査」で、最高位となる「優秀賞」を受賞

#### 地域との共生・共創、次世代の育成

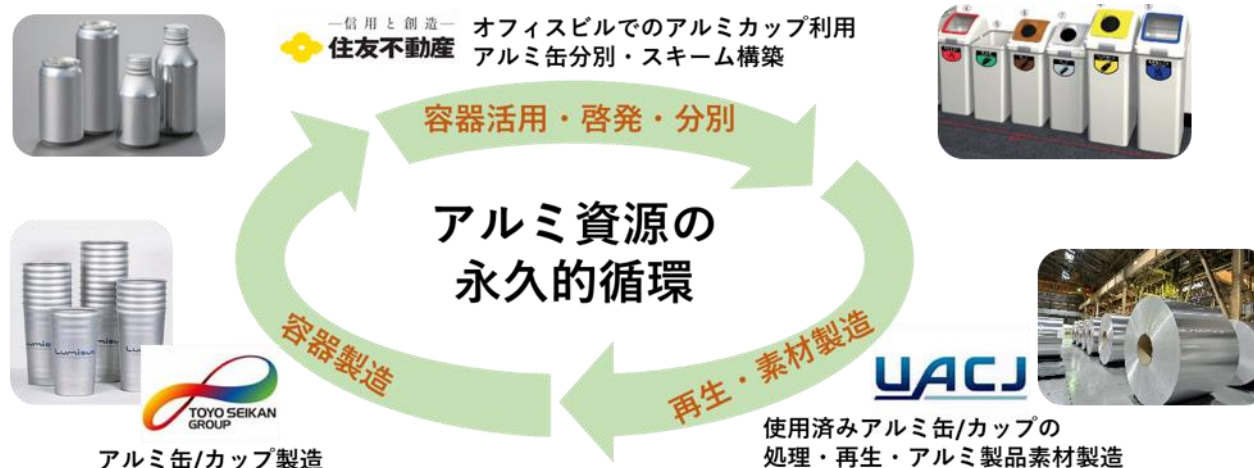
- スポーツチームへのスポンサード、協賛活動の積極展開
- 教育支援活動の継続実施

# 「アルミ缶水平リサイクル」におけるサプライチェーン強靱化の進展

## 住友不動産様、東洋製罐グループホールディングス様と協業し、 循環型社会の実現に向けた「アルミ缶水平リサイクル」のサプライチェーンを構築

住友不動産様、東洋製罐グループホールディングス様とともに、使用済みのアルミ缶を原料に再生し、再びアルミ缶製造に活用する「水平リサイクル」のサプライチェーンを共同で構築し、2023年実施のテスト運用を経て2024年4月より、住友不動産様の保有する都内オフィスビルを起点として運用を開始

水平リサイクルスキームの概念図



水平リサイクルの実現は、

- 全量を輸入に頼るアルミ新地金からリサイクル地金への代替を推進することで、国際情勢から受ける資源価格の影響を極力抑えられる
- 貴重な資源の国内循環や温室効果ガス排出量の削減に貢献できる

「資源の永久的な国内循環」をかなえ、環境負荷低減に大きく貢献

## 健康経営の推進 – 「健康経営銘柄」「健康経営優良法人2024(ホワイト500)」初認定

「従業員の安全・衛生・健康はすべてに優先する」考えのもと、より一層の従業員の健康づくりに取り組む



### 2024年度の健康銘柄へ初選定 非鉄金属セクターで唯一の選出

#### 主な取り組み

- 生活習慣病リスクの低減にむけプログラム提供
- 喫煙率の低減にむけた卒煙の推進
- メンタルヘルス不調による長期欠勤、休職者の低減対策の実施
- 長時間労働者の低減を目指した人員計画や多様な働き方の制度化
- 人事諸制度改革による従業員エンゲージメントの向上
- 従業員の健康意識の向上のためのプログラム配信

#### 健康経営の取り組みで目指す姿

アブセンティーズム\*1とプレゼンティーズム\*2の低減とともに、従業員のエンゲージメントを高めることで従業員がいきいきと働き、活気にあふれ多様な人材が入社を希望する魅力ある会社となる

\*1 アブセンティーズム

: 心身の病気により長欠や休職を継続している社員がいる状況

\*2 プレゼンティーズム

: 出勤しているも健康な状況でないために100%の実力を出し切れていない社員がいる状況



# 3. 2024年度 業績見通し



## 経営環境認識

### グローバルの缶材市場 自動車分野 国内の厚板・箔地等

: コロナ以降の在庫調整が終了しつつあり、復調  
: 日米ともに自動車生産状況は堅実に推移  
: 年間を通じて徐々に回復

#### 日本

缶材: 飲料用缶材需要は横ばいと見込む  
「EcoEnd™」等、環境負荷低減をかなえる製品の開発・拡販を進め、アルミ化を推進する  
自動車: お客様の生産状況は正常化し、当社における生産(パネル板材、熱交換器、電池箔、構造部材他)も  
堅実に推移する見通し  
厚板: 半導体工場建設の進捗に応じ、徐々に回復していく想定

#### 北米

缶材: 中長期的に缶材需要が拡大する見通しに変更はない  
在庫調整はほぼ終了し、マーケットは復調していく想定  
自動車部品: 北米自動車市場は復調傾向  
自動車部品のアルミニウム化トレンドには変更なし

#### アジア・その他

缶材: 東南アジアのお客様の在庫調整が解消し、缶材需要は緩やかに回復していく見通し  
インド、中東・アフリカの缶材需要へ今後成長を見込む

## 2024年度 通期業績見通し

## 販売量の回復を主因に、増収増益を見込む

	2023年度 (A)	2024年度 (B)	増減 (B) - (A)
(単位: 億円)			
売上収益	8,928	<b>9,000</b>	72
事業利益	434	<b>435</b>	1
棚卸資産影響等	△ 120	△ 20	100
営業利益	314	<b>415</b>	101
親会社の所有者に帰属する当期利益	139	<b>155</b>	16
1株あたり当期利益 (円/株)	287	<b>321</b>	34
(参考) 事業利益をベースとした 親会社の所有者に帰属する当期利益	221	<b>169</b>	△ 52
(参考) 事業利益をベースとした 1株あたり当期利益 (円/株)	458	<b>350</b>	△ 108
Adjusted EBITDA	798	<b>800</b>	2
年間配当	90円/株	<b>100円/株</b>	10円/株

## アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

品 種	2023年度 (A)	2024年度 (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材*	791	836	45
箔 地	45	54	9
I T 材	8	10	2
自動車材	142	144	2
厚 板	34	41	7
その他一般材	175	182	7
合 計	1,195 国内市場向け 475 海外市場向け 720	1,267 国内市場向け 502 海外市場向け 765	72 国内市場向け 27 海外市場向け 45

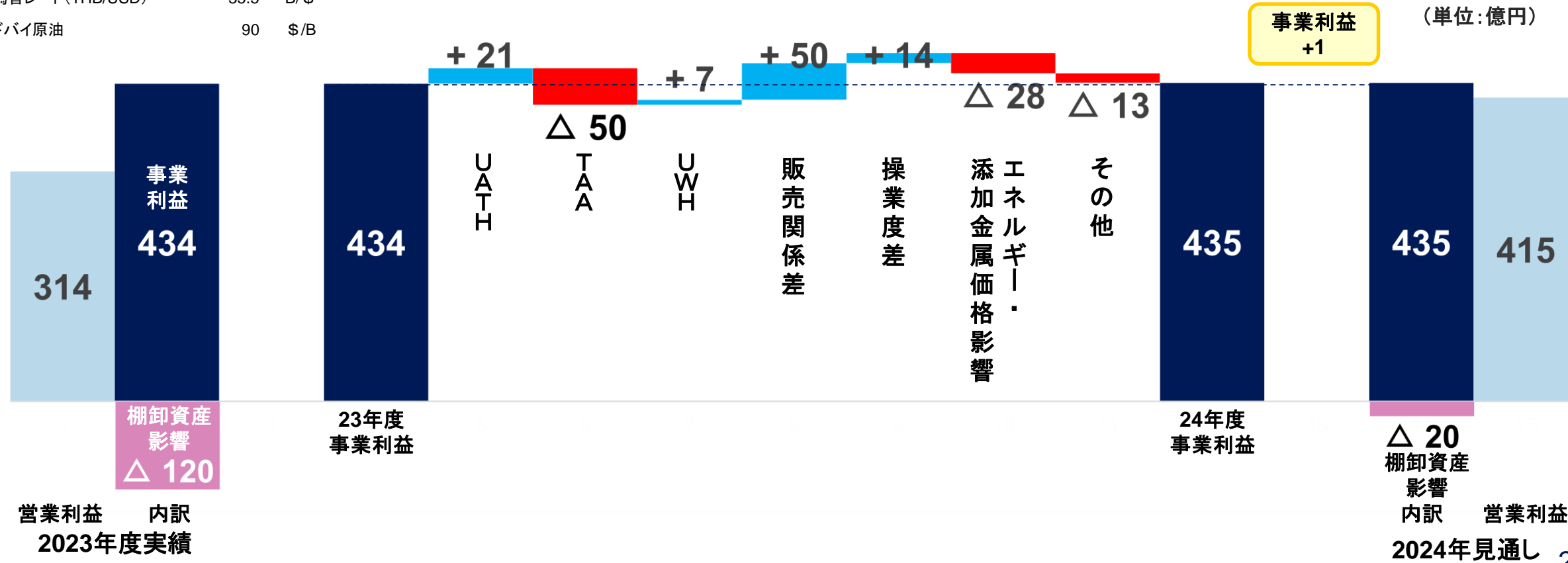
\* 内部取引控除後の数量

# 事業利益分析 (2023年度実績 → 2024年度 見通し)

事業利益: 434億円 (2023年度) → 435億円 (2024年度見通し)

前提条件

LME	2,300	\$/t
為替レート(JPY/USD)	145	円/\$
為替レート(THB/USD)	35.5	B/\$
ドバイ原油	90	\$/B





## 設備投資・減価償却費

## 設備投資は減価償却の範囲内を堅持

		2024年度 見通し	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2021～23年度 計
(単位:億円)						
設備投資	一般投資	160	129	210	217	556
	戦略投資	205	79	54	114	247
	合計	365	207	264	331	803
減価償却費		365	306	348	364	1,018

# 株主還元

配当性向30%以上を目途に、年間配当金を10円/株増配し100円/株とする

## 還元方針

最終利益\*の30%以上を配当性向の目途とし、  
安定的かつ継続的な配当を目指す

\* 最終利益：親会社の所有者に帰属する当期利益

第4次中期経営計画期間  
(FY2024~FY2027)

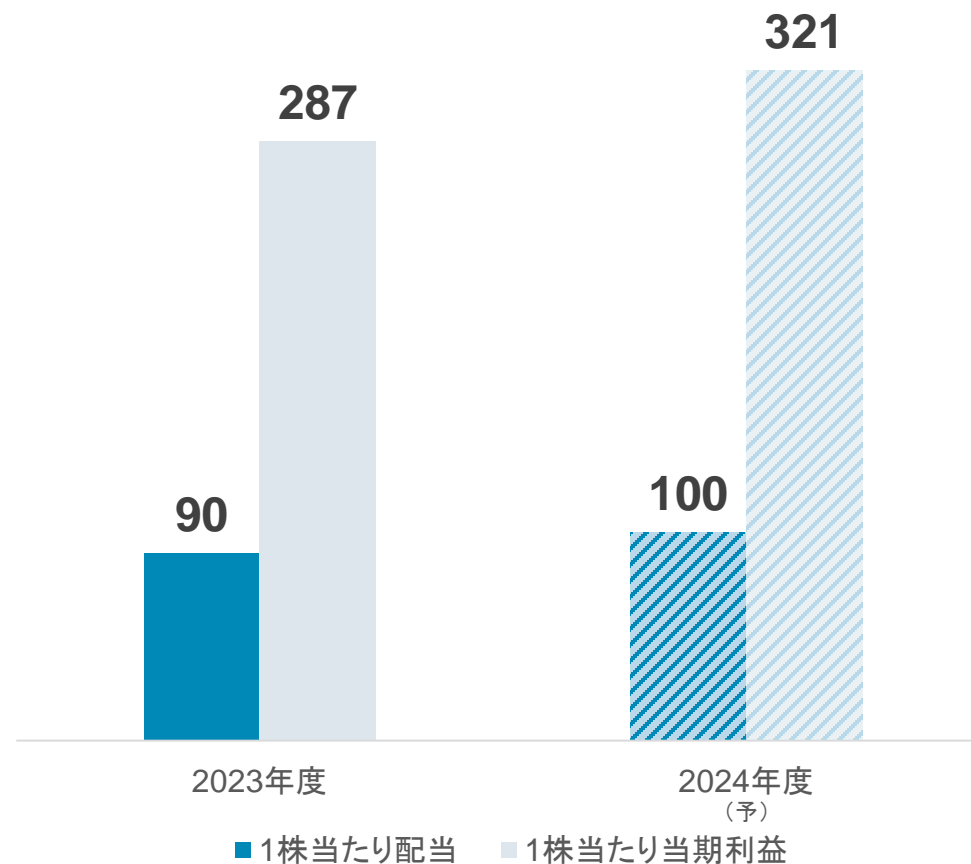
配当性向 30%以上

1株当たり配当 ...10円増配を計画

2023年度		2024年度	
中間	期末	中間	期末
45円	45円	50円	50円
90円		100円	

\* 前回公表時から変更なし

1株当たり配当(円)/1株当たり当期純利益(円)



# 今後のスケジュール

## IR-Day 第4次中期経営計画 説明会

5月28日(火) 9:00~12:00

登壇者

代表取締役 社長執行役員

田中信二

取締役 副社長執行役員

川島輝夫

取締役 常務執行役員

隈元穰治

専務執行役員

橋本圭造

常務執行役員 / TAA,CEO

Henry Gordinier

常務執行役員 / UATH社長

山田哲也

UWH, CEO

David Cooper

## ESG説明会

2024年11月下旬(予定)

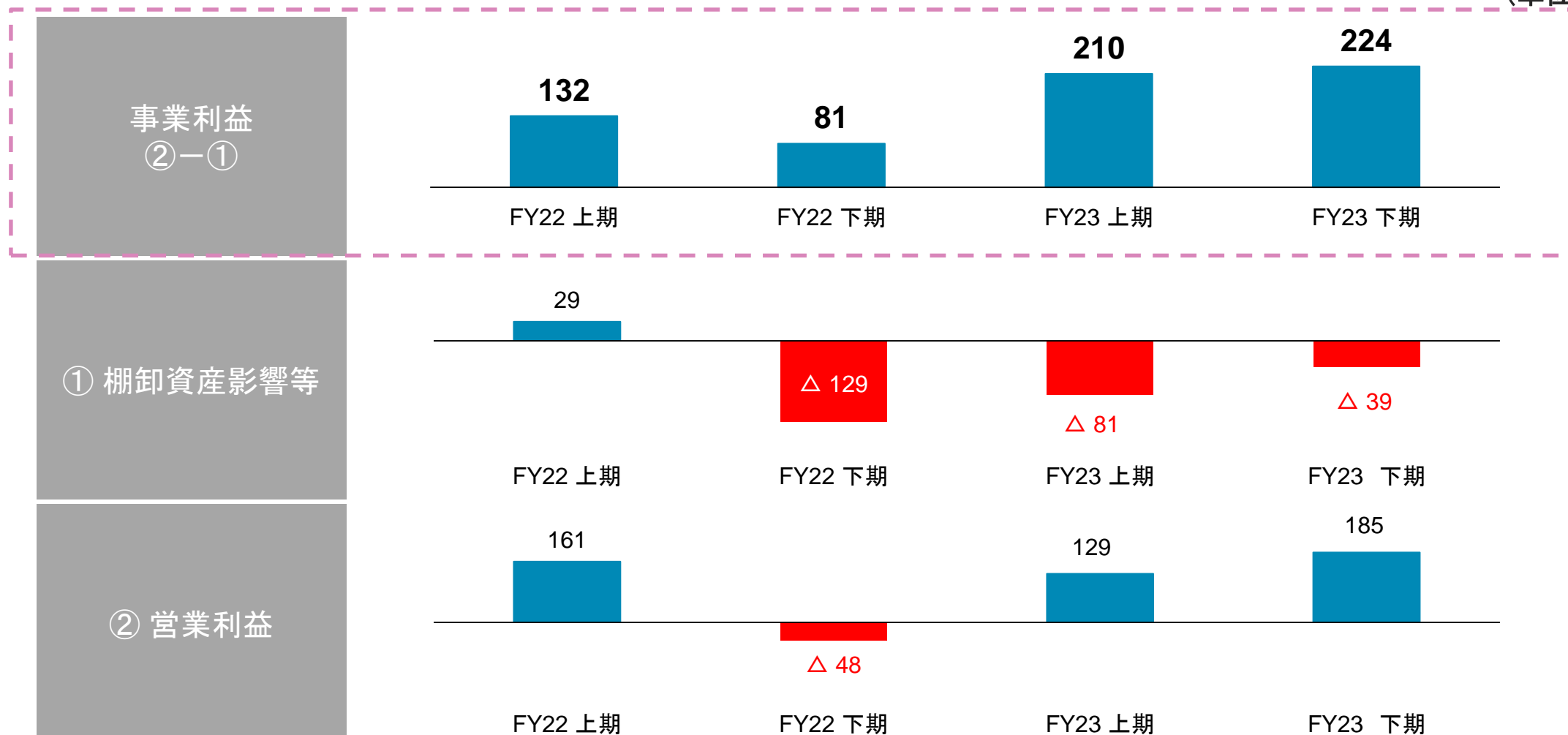
# 4. ご参考データ



## 事業利益の定義

「事業利益」は当社の実力ベースの損益で、営業利益から棚卸資産影響等を引いた損益  
 FY23 1Qまで「棚卸資産影響前営業利益」として示していたものと同義

(単位:億円)



## 4. ご参考

## 主要指標推移

	日本会計基準				I F R S						(単位:億円)
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 1Q(単)	2023年度 2Q(単)	2023年度 3Q(単)	2023年度 4Q(単)	2023年度 累計	2024年度 (見通し)	
連結売上高	6,152	5,698	7,829	9,629	2,111	2,238	2,254	2,325	8,928	9,000	
連結営業利益	101	111	595	172	82	47	93	92	314	415	
事業利益	-	-	-	-	110	100	123	101	434	435	
棚卸資産影響前 連結経常利益	98	62	213	161	-	-	-	-	-	-	
連結経常利益	38	60	523	87	-	-	-	-	-	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	20	△33	321	47	29	16	23	71	139	155	
設備一般投資	143	109	129	210	32	52	54	79	217	160	
設備戦略投資	347	72	79	54	23	21	34	36	114	205	
合計	489	181	207	264	55	73	88	115	331	365	
減価償却費	312	334	340	373	90	90	76	108	364	365	
有利子負債残高	3,440	3,358	3,394	3,367	3,702	3,604	3,497	3,109	3,109	-	
R O E ( % )	1.1	△1.8	15.6	1.9	-	-	-	-	5.3	5.6	
R O I C ( % )	1.9	2.2	11.1	3.0	-	-	-	-	7.5	7.4	
D / E レシオ ( 倍 )	1.56	1.56	1.36	1.25	1.3	1.3	1.2	1.0	1.0	1.0	
営業キャッシュフロー	581	386	78	526	△ 23	246	457	949	949	-	
投資キャッシュフロー	△ 300	△ 210	△ 210	△ 269	△ 88	△ 192	△ 268	△ 362	△ 362	-	
フリーキャッシュフロー	281	177	△ 132	257	△ 111	54	189	587	587	-	
株主資本 ( 日本基準 )	1,827	1,775	2,090	2,096	2,083	2,088	2,078	2,124	2,124	-	

#### 4. ご参考

## 海外主要子会社 業績推移

(単位: 億円)

### UATH

2022年度(IFRS・2022年4月～2023年3月)

	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上収益	526	475	1,001	467	282	749	1,750
営業利益	6	△ 14	△ 8	6	△ 17	△ 11	△ 19
(棚卸資産影響)	2	△ 24	△ 22	△ 11	△ 11	△ 22	△ 44
事業利益	4	10	14	17	△ 6	11	25

2023年度

	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上収益	340	352	692	366	367	734	1,426
営業利益	△ 14	0	△ 13	15	4	18	5
(棚卸資産影響)	△ 14	△ 1	△ 15	4	△ 11	△ 6	△ 21
事業利益	0	1	1	10	14	25	26

2024年度  
計画

	通期
売上収益	1,522
営業利益	47
(棚卸資産影響)	0
事業利益	47

### TAA

2022年度(IFRS)

	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上収益	829	727	1,556	683	626	1,309	2,865
営業利益	96	△ 25	71	△ 39	47	8	80
(棚卸資産影響)	33	△ 74	△ 41	△ 77	3	△ 73	△ 114
事業利益	63	50	112	38	44	82	194

2023年度

	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上収益	570	648	1,219	595	722	1,317	2,536
営業利益	66	34	101	36	63	99	200
(棚卸資産影響)	△ 7	△ 38	△ 45	△ 24	△ 6	△ 30	△ 75
事業利益	73	73	146	60	69	129	275

2024年度  
計画

	通期
売上収益	2,467
営業利益	225
(棚卸資産影響)	0
事業利益	225

### UWH

2022年度(IFRS)

	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上収益	73	101	175	93	101	194	369
営業利益	△ 8	△ 4	△ 11	△ 2	△ 3	△ 5	△ 17
(棚卸資産影響)	△ 4	4	0	2	△ 0	1	1
事業利益	△ 4	△ 7	△ 12	△ 4	△ 2	△ 6	△ 18

2023年度

	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上収益	105	104	210	100	107	207	417
営業利益	1	2	3	4	4	8	11
(棚卸資産影響)	2	4	6	1	0	1	7
事業利益	△ 1	△ 2	△ 3	3	4	7	4

2024年度  
計画

	通期
売上収益	407
営業利益	10
(棚卸資産影響)	0
事業利益	10

## 諸元と感応度

	2021年度 (3月末)	2022年度 (3月末)	2023年度 (2024年3月末)	営業利益への 感応度
アルミ地金 日経平均 (円/kg)	378	408	<b>389</b>	10円/kg上昇した場合 → +20~30億円/年
LME (米\$)	2,769	2,490	<b>2,202</b>	\$100/t上昇した場合 → +22~35億円/年
為替 (円/米\$)	112	136	<b>145</b>	・燃料単価、添加金属:円高が有利 ・ロールマージン、為替換算差:円安 が有利
為替 (円/タイバーツ)	3.4	3.8	<b>4.1</b>	
原油 (ドバイ:米\$)	78	92	<b>82</b>	10ドル上昇した場合 → Δ10~15億円/年



## IFRSの適用について

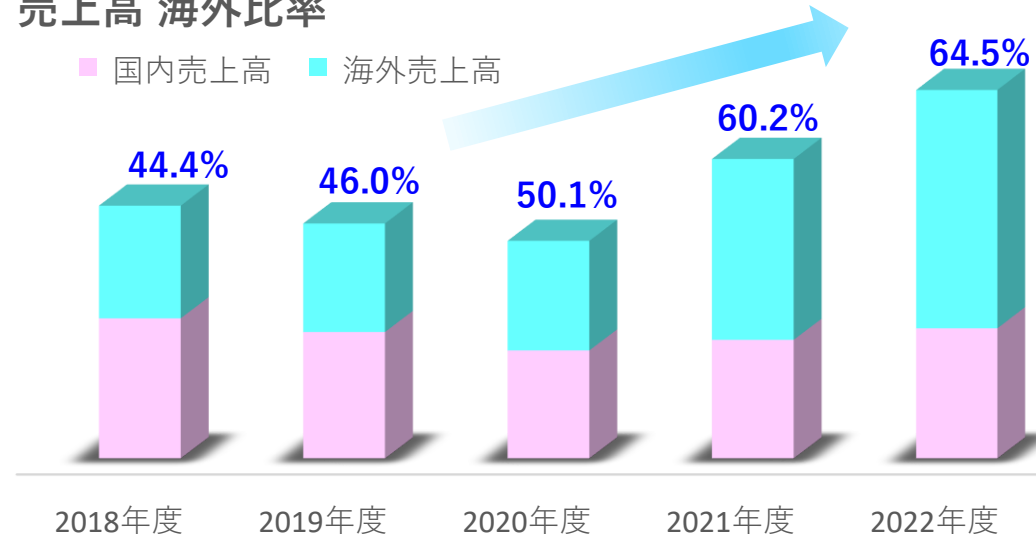
## 事業活動のグローバル化に対応し、会計基準にIFRS適用

当社グループの売上高・投下資本等に占める海外比率は毎年増加しており、  
今後、更に増加していく見込み

- ➡ **グローバルな企業活動の更なる拡大を念頭に、会計面・情報開示面の体制を整備**
- ➡ **IFRSを適用することにより、より多くの投資家の方に当社の理解を深めていただきたい**

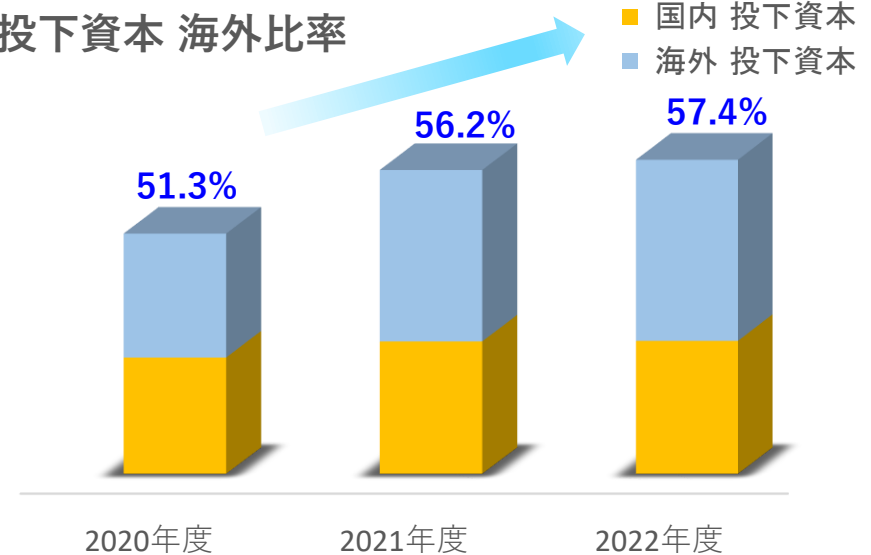
売上高 海外比率

■ 国内売上高 ■ 海外売上高



投下資本 海外比率

■ 国内 投下資本  
■ 海外 投下資本



## 業績【日本基準】

(単位:億円)

	2022年度累計 (A)	2023年度累計*3 (B)	増減 (B)－(A)
連結売上高	9,629	8,947	△ 681
連結営業利益	172	283	111
棚卸資産影響前 連結経常利益	187	320	133
棚卸資産影響額	△ 100	△ 120	△ 20
連結経常利益	87	199	112
連結当期純利益*1	47	112	65
Adjusted EBITDA*2	658	806	148

\*1 連結当期純利益:親会社株主に帰属する当期純利益

\*2 Adjusted EBITDA: EBITDA - 棚卸資産影響

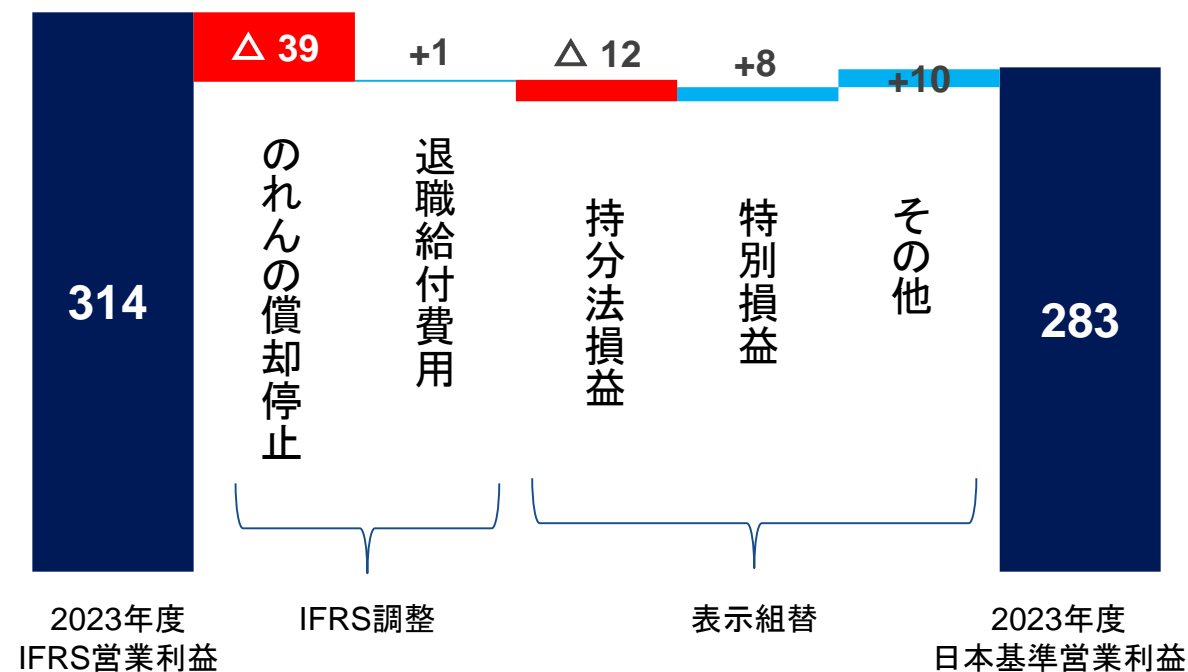
## 日本基準とIFRSの業績指標比較と変化分析

## 2023年度 累計実績比較(億円)

IFRS		日本基準*	
売上収益	8,928	売上高	8,947
営業利益	314	営業利益	283
-		経常利益	199
事業利益	434	棚卸資産影響前 経常利益	320
棚卸資産影響	△ 120	棚卸資産影響	△ 120
最終利益	139	最終利益	112

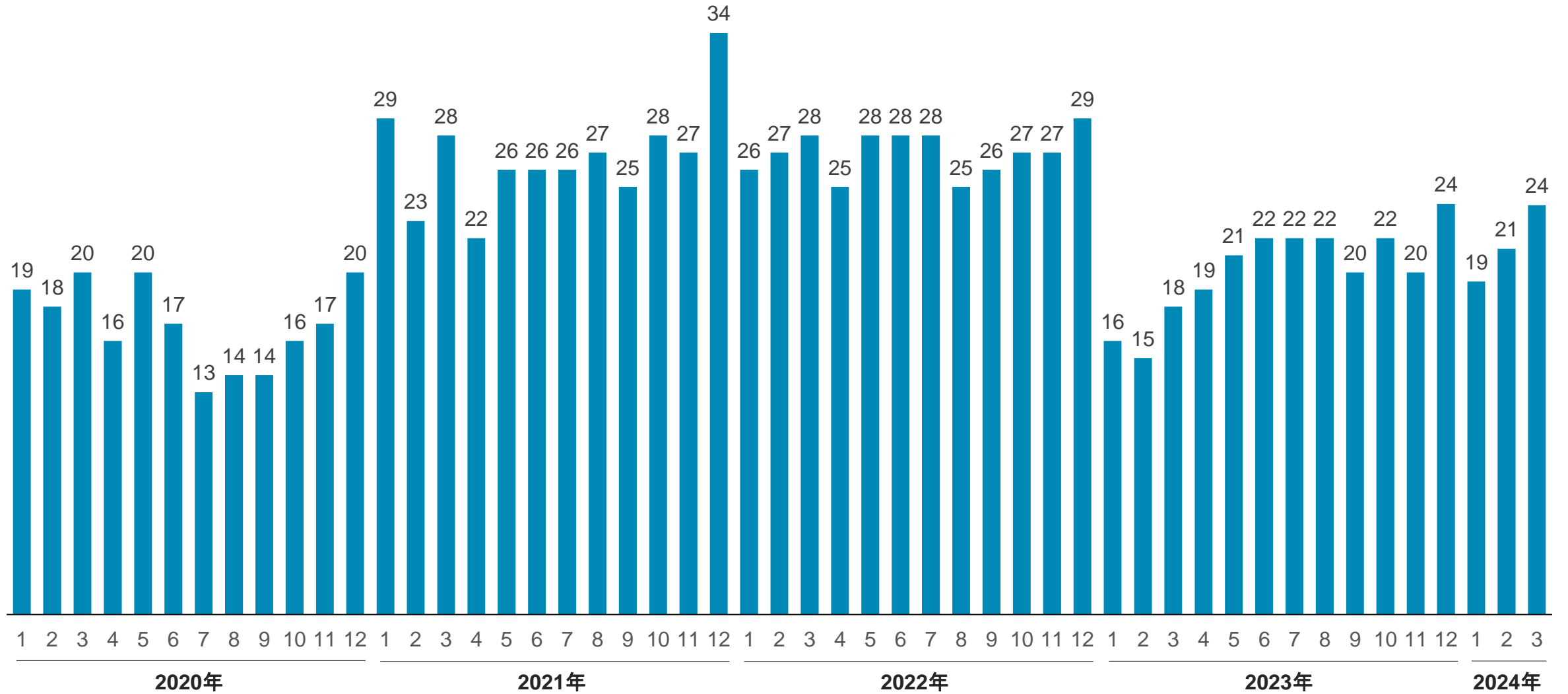
- ✓ IFRS適用に伴い業績管理の指標として**営業利益**を使用
- ✓ 営業利益でIFRS適用により以下の調整が生じた
  - のれんの償却停止
  - 持分法損益
  - 特別損益
  - 営業外損益(金融収益費用除く)
  - その他

## IFRS適用に伴う営業利益の変化

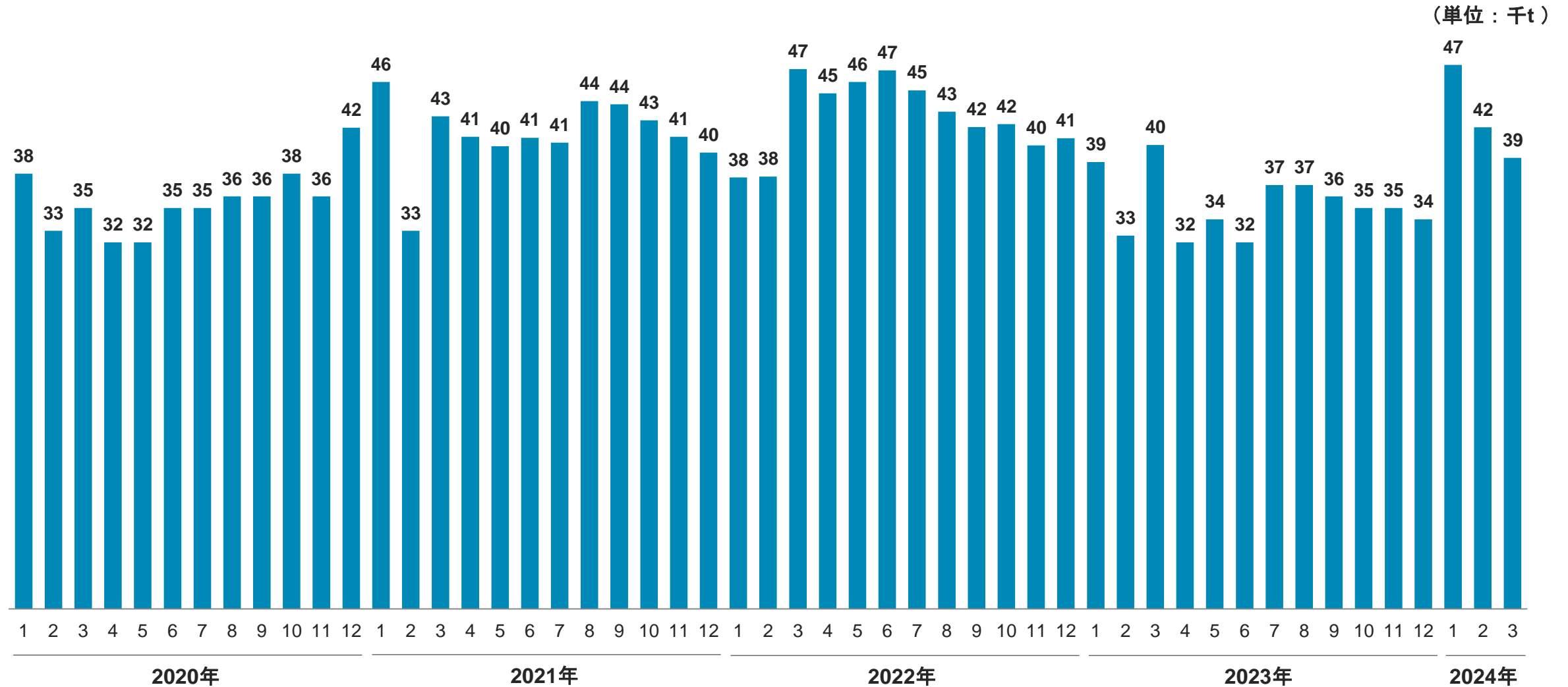


# UATH 月次販売量推移

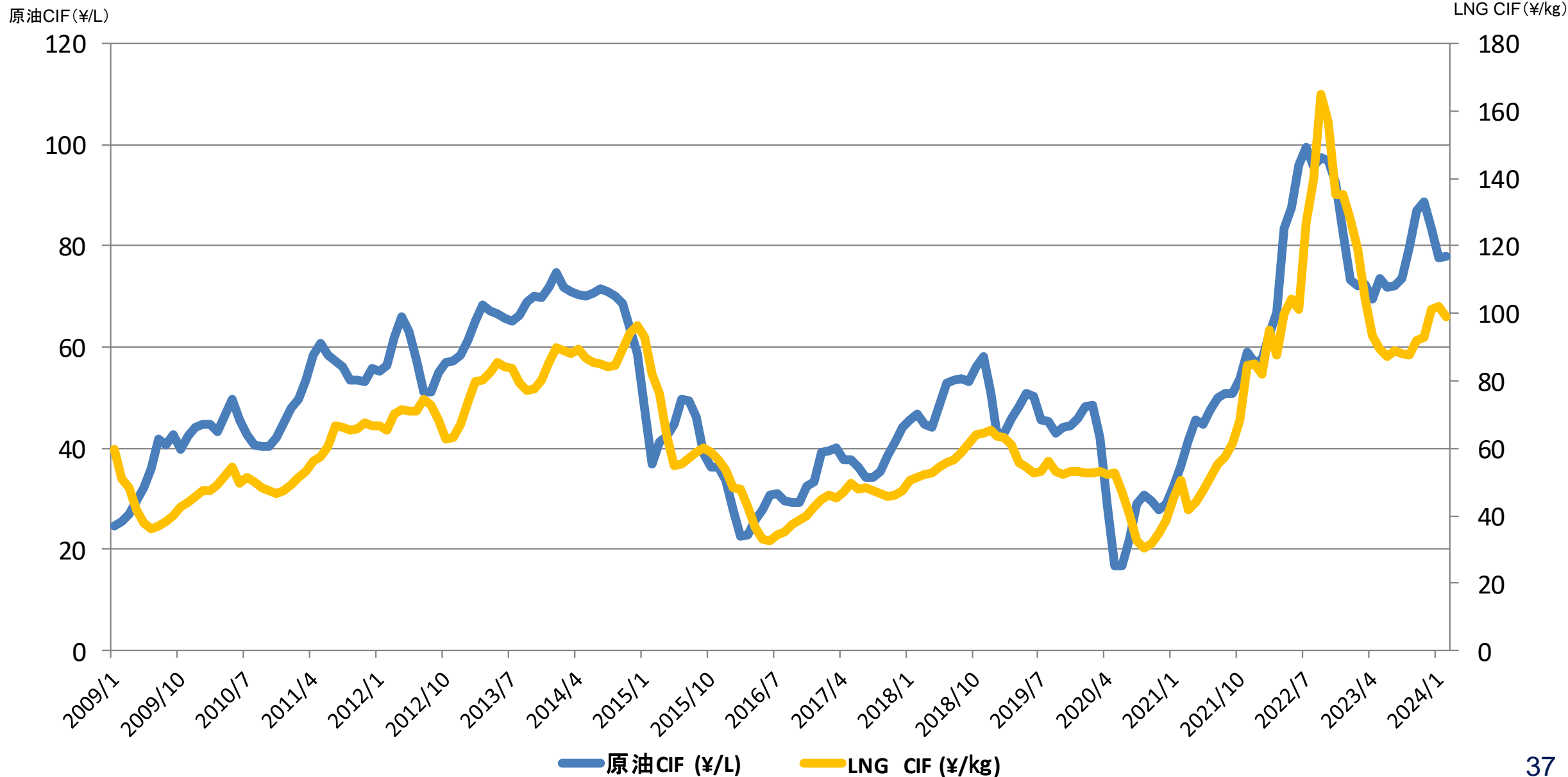
(単位：千t)



# TAA 月次販売量推移

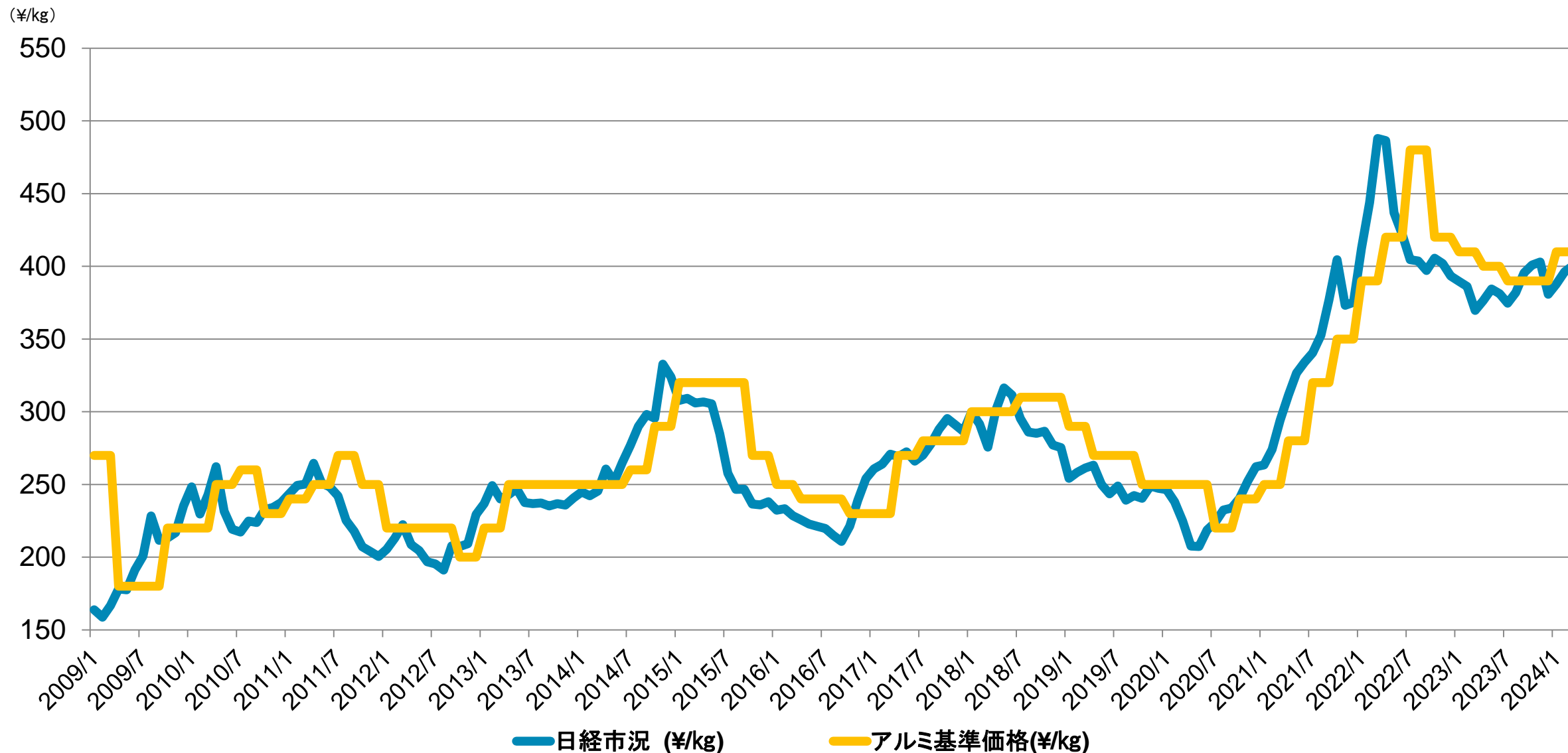


# 燃料単価推移



#### 4. ご参考

## アルミ地金日経平均・アルミ基準地金



# 棚卸資産影響

## アルミ圧延事業における棚卸資産影響

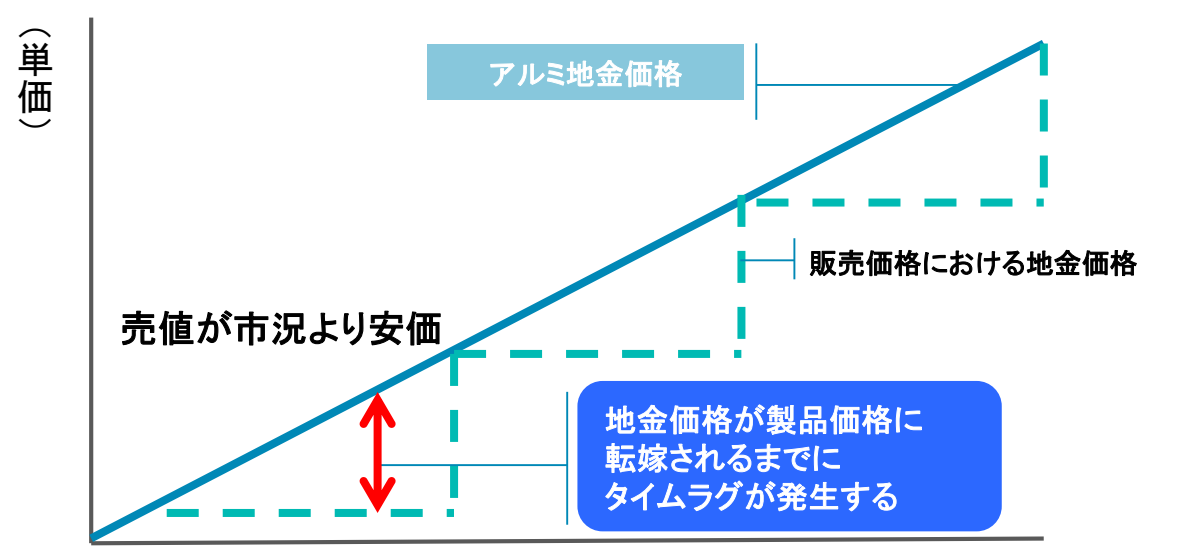
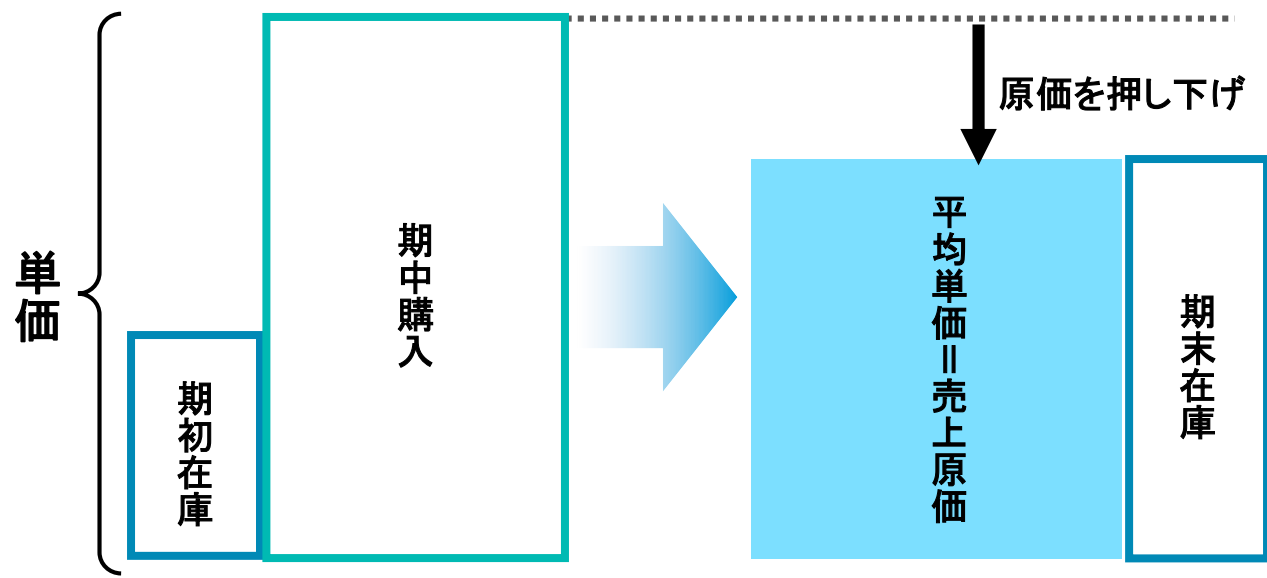
- ① 平均法による材料費計算  
期首在庫と期中購入アルミ地金の加重平均で、材料費を計算(期首在庫が影響)
- ② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差

① + ② = 棚卸資産影響

【アルミ地金価格上昇】

### ① 平均法による材料費計算




### ② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差





## 外部環境の変化と対応について

## 収益の安定化に向け、外部事業環境の変化に強い価格スキームを確立

	国内 	TAA(米国) 	UATH(タイ) 
アルミニウム地金価格の上昇	販売価格に転嫁		
エネルギー価格の高騰	販売価格への転嫁は <b>予定通り導入済み</b> 電力費用の追加負担分については引き続き検討	販売価格への転嫁を実施 (市場価格連動の 価格スキームを <b>導入済</b> )	契約更新(新規含む) 市場価格連動の 価格スキームを <b>導入済</b>  既存契約期間中の見直し 一部のお客様と エネルギー価格高騰分 の転嫁を合意
添加金属価格の高騰	添加金属を多く含む製品について、市場価格に連動した価格スキームを <b>導入済</b>		
物流費の上昇	—		販売価格への転嫁を実施 (フォーミュラ制を <b>導入済</b> )

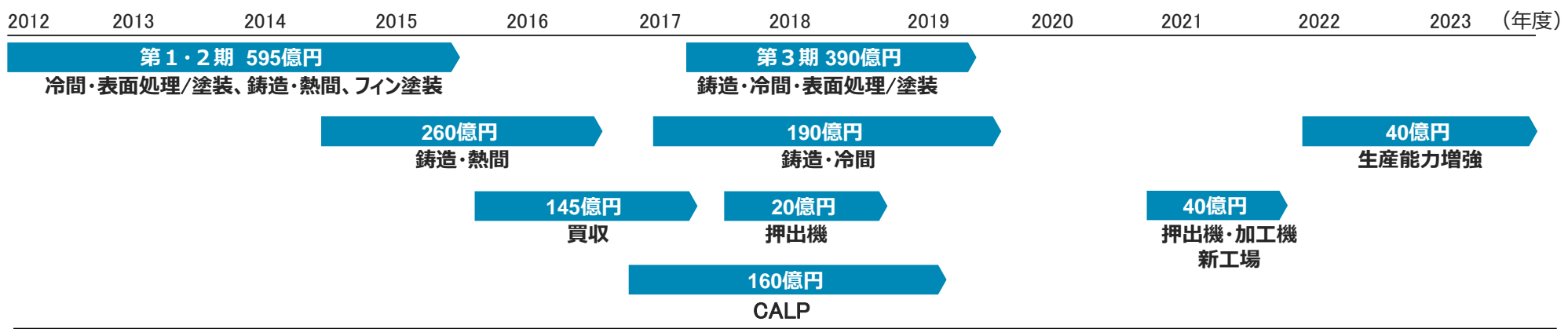
4. ご参考

# アルミ圧延事業の産業構造について(投資とリターンの関係性)

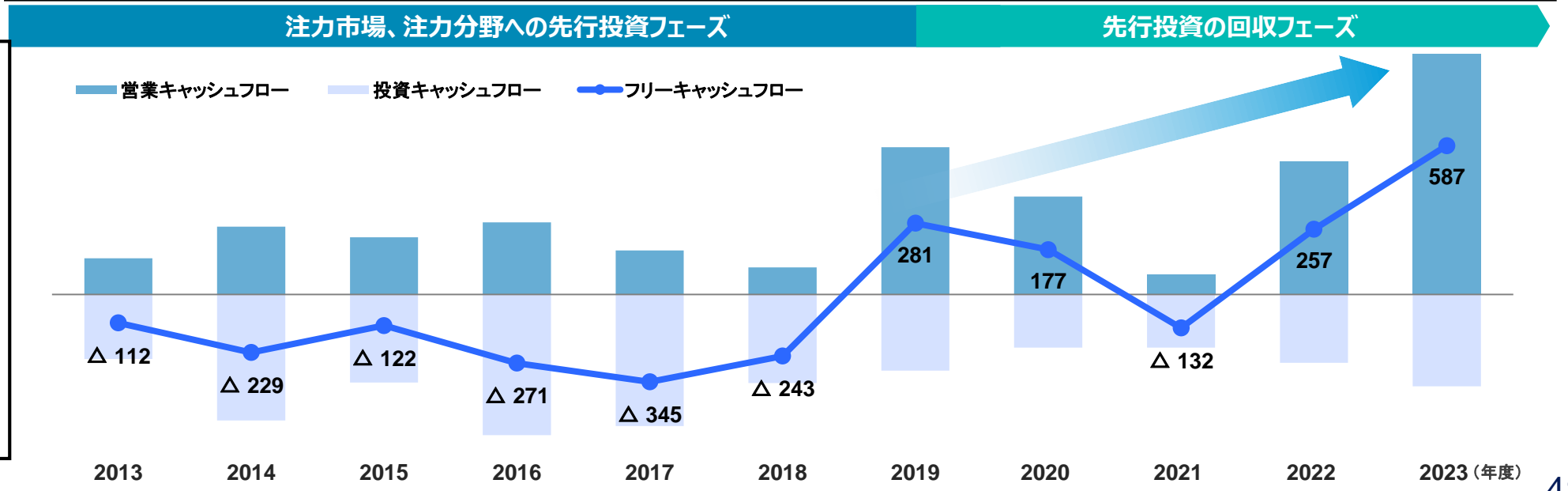
生産立上げから量産、投資の回収まで5年以上要する中、19年度より投資回収フェーズへ

主な戦略投資/投融資

UATH (タイ)	985億円
TAA (米)	490億円
UWH (米)	205億円
福井	160億円



連結キャッシュフロー



## 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。

また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

## 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料並びにIR関係のお問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

財務本部 IR部

[web-contact-ir@ml.uacj.co.jp](mailto:web-contact-ir@ml.uacj.co.jp)

<http://www.uacj.co.jp>

( 東証プライム 証券コード : 5741 )



*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界